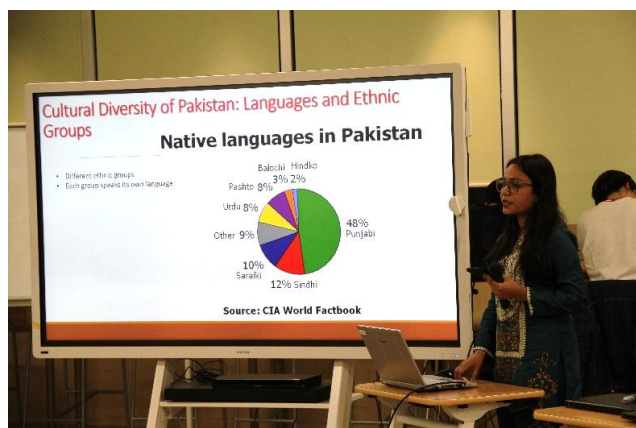


グローバル・カフェ×留学生センター共催「パキスタン&台湾イベント」を開催しました

2024 年 12 月 4 日、留学生センターとの共催で「パキスタン&台湾イベント」を実施しました。さぬきプログラムに参加しているパキスタン出身の Sughra さんと台湾出身の Bennett さんより自国の紹介をしていただきました。留学生 18 名、日本人学生 7 名、教職員 5 名の計 30 名が参加しました。

パキスタンの国教はイスラム教で、国内の 96.4%がムスリムだそうです。国内にはさまざまな民族が存在し、その割合は Punjabi(48 %), Sindhi(12%), Saraiki(10%), Urdu(8%), Pashto(8%), Baloch(3%), Hindko(2%)で、それぞれ異なる言語を話します。公用語は英語、国語は Urdu 族が話すウルドゥー語が定められていますが、日常生活では Punjabi 族や Sindhi 族が使用するパンジャブ語やシンド語が多く話されていると紹介されました。それぞれの民族は独自の伝統衣装、踊り、食文化を持っており、祭りやイベント時には、各民族が伝統衣装を身に着け、踊りを披露する大会も開催されるそうです。



ムスリムにとって、最も重要な祝祭は「Eid-ul-Fitr」と「Eid-ul-Adha」であり、前者はラマダンの終了を祝う祭りで、モスク、広場で特別な礼拝に参加し、家族や友人と食事を楽しむとのこと。後者は、「犠牲祭」とも呼ばれ、イスラム教の五大預言者の一人であるアブラハムを讃える祝祭で、羊、牛、ヤギ等を生贄として神に捧げ、その肉を貧しい人や近隣の人々と分け合うという習慣があるそうです。



ラマダン明けには甘い料理やスイーツが食されるのに対して、犠牲祭では肉料理が中心に振舞われることが多く、このような祭りは家族や地域社会のつながりを深め、次世代への文化を継承する役割も持つと話されました。

続いて Bennett さんより、台湾の基本的な情報として、首都は台北、人口約 2,350 万人、面積は 36,000 km²で大体九州と同じ大きさであること、海に囲まれた島国というだけでなく、3,000m 級の山々が連なる大自然の宝庫でもあることが紹介されました。

有名な山として、台湾中部に位置し、東アジアで最も高い標高 3,952m を持つ Jade Mountain(玉山)、同じく中部にあり、標高 3,422m でありながらも、車で行ける高地として有名な Hehuan Mountain (合歡山)、日の出スポットで有名な台湾南部の嘉義県に位置する Mount Ali(阿里山)を挙げました。なかでも Jade





Mountain(玉山)は、台湾の一番高額な紙幣である 1,000 元紙幣に描かれており、台湾を象徴する山であると実際の紙幣を見せていただきました。

さらに、「台湾人しか理解できない不思議な現象?!」として、三つの事実を紹介してくれました。一つ目は「ごみ収集車が流す謎の音楽」で、台湾のごみ収集車は、住民にごみ収集の時間を知らせるためにクラシック音楽を流して近づいて来るそうです。曲名は「エリーゼのために」であることが多く、この曲が流れると住民がごみを持って家から出てきて、直接手渡しでごみを出すというのが日常になっており、台湾独特の珍光景として、観光客にもよく知られているとのこと。なぜ「エリーゼのために」なのかは謎に包まれているそうです。

二つ目は「長蛇の列」。台湾人は期間限定の食べ物や話題のスイーツ、新商品の発売等があると、平気で長時間並ぶ、と話し、人気のタピオカミルクティーの新作発売、有名レストランのオープン日、限定グッズやブランド商品の発売日には、前日から泊まり込みで並ぶ人もいます。この現象は日本でも見られることがあり、「行列＝人気の証」として認識されることが多いと述べました。

三つ目は「ピザハットの珍メニュー」。台湾のピザハットは期間限定でとてもユニークなトッピングのピザを販売しているそうで、過去にはドリアンピザ、臭豆腐ピザ、タピオカピザ、宇治抹茶ピザなどがあったと話し、Bennett さんは、どの珍メニューもまだ試したことがないそうで、「勇気のある人はぜひ挑戦して、美味しかったか教えてください。」との呼びかけに対して、会場からは「Bennett さんが先に食べてから感想を教えてください。」との声があがり、会場全体が笑顔に包まれました。

